

震災乗り越え新たな一歩

森口記念館で11年度入学式

「腰を据え長い視点で物事を考えてほしい」

—坂田学長が式辞



東日本大震災によって1カ月半以上延期になっていた2011年度入学式が5月22日、森口記念館で行われた。学部生359人、大学院生26人が入学。今回の震災を乗り越え、新たな一歩を踏み出そうと誓い合った。



▲ 式辞を述べる坂田学長

「腰を据え長い視点で物事を考えてほしい」と新入生に期待を寄せた。新入生を代表して、理工学部の五井俊好さん(宮城県石巻北高)が「多くの人に支えられ、助けが手渡された。」

被災後の日本全体の様子を見ますと、価値観が大きく変わりつつあるように思います。こういう時だからこそ、一人ひとりが腰を据えて勉強し、長い視点で物事を考えてほしい」と新入生に期待を寄せた。



▲ 新たなスタートに気も引き締まる新入生

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

石巻専修大学

http://www.isenshu-u.ac.jp

硬式野球部

東北大学野球連盟の全日本大学野球選手権代表決定戦最終戦が5月31日、福島県本宮市の楽天イーグルスグリーンパーク本宮で行われた。硬式野球部は東日本国際大と対戦したが、0-3で敗れ、2年ぶり4度目の全日本大学野球選手権記念大会出場はかなわなかった。



高橋祐太投手が優秀選手賞に選ばれた。試合に力投した高橋さん(経営4・宮城県利府高)は「代表決定戦は気持ちの部分で及ばなかった。全力を出したので、悔いはありません。私は今大会で引退となります。」

惜しくも「全日本」出場ならず

高橋祐太投手が優秀選手賞に

硬式テニス部
東北学生テニス春季トーナメント大会(東北学生テニス連盟主催)が5月3日から13日まで、仙台市の東北大学ほかで行われ、硬式テニス部の和を決定した。

和田さんが2年連続インカレへ

女子ダブルスでも「候補」入り



▲ 練習に励む和田さん

田咲良さん(経営2・宮城県泉館山高)写真が勝てたが、インカレ女子シングルスで6位と出場権を賭けた5、8位となり、2年連続の全日本決定リーグ戦を2勝1敗で終え、6位入賞。また、学生テニス選手権大会(以下、インカレ)出場女子ダブルスでは高校の

この結果は硬式テニス部にとっても明るい話題で、部員一丸となって応援している。

訂正
5月号6面「新専任教員紹介」で、経営学部の「井通晴助教」は「井井道晴助教」の誤りでした。お詫びして訂正します。



▲ 地元商店などでアンケート調査

経営学部の教員11人と、被災した企業や商店へのアンケート調査を実施した。これは石巻市が策定中の震災復興基本計画の基礎資料の一つとなるもので、宮城県建築住宅センターの協力機関として参加。本学では今年度からボランティア活動を単位認定しており、この活動も対象となる。山崎泰典准教授は「地元で立地する大学として、学生に地域の現状を知ってほしい」と語り、

「学内企業説明会」に4年次生ら70人参加



▲ 採用担当者の説明を熱心に聞く参加者

進路支援係主催の「学内企業説明会」が5月31日、本学で開かれた。企業・団体16社の採用担当者ら4年次生約70人(既卒者含む)が参加した。県内は震災の影響で求人企業説明会が5月31日、本学で開かれた。企業・団体16社の採用担当者ら4年次生約70人(既卒者含む)が参加した。県内は震災の影響で求人

経営学部教員・ゼミ生が被災企業へアンケート調査

経営学部の教員11人と、被災した企業や商店へのアンケート調査を実施した。これは石巻市が策定中の震災復興基本計画の基礎資料の一つとなるもので、宮城県建築住宅センターの協力機関として参加。本学では今年度からボランティア活動を単位認定しており、この活動も対象となる。

「学内企業説明会」に4年次生ら70人参加

石巻赤十字看護専門学校に教室を提供
本学は震災直後から放している。4月から、宮城県石巻市津波で校舎が大きな被害を受けた石巻赤十字看護専門学校に、2号館2、3階の教室などを提供している。坂田学長は「非常時にこそ地域に貢献した」と話している。

「復興共生プロジェクト」の一環
「復興共生プロジェクト」の一環として、本学施設を開いている。

また、6月1日から津波で校舎が大きな被害を受けた石巻赤十字看護専門学校に、2号館2、3階の教室などを提供している。坂田学長は「非常時にこそ地域に貢献した」と話している。

1・福島県石川高・竹中徹ゼミ、「三寿町通り」では、再開しようとしている店舗が2、3軒しかない。考えていた以上に被害は甚大だった。地域の活性化」の意義を考える意味でも勉強になりました(佐々木英晃さん)経営学研究科2・宮城県東北高・大坂良宏ゼミ)などの感想が寄せられた。